

## 令和2年度 香南市人生支援計画数値目標及びKPI評価書

達成状況を客観的に評価できる目標について、以下により4段階評価で実施

区 分	評 価 基 準
A	数値目標（KPI）の達成率が100%以上
B	数値目標（KPI）の達成率が60%以上100%未満
C	数値目標（KPI）の達成率が60%未満
*	数値目標を持つことが不適切

幼年期	… P2	～	P4
就学期	… P5	～	P8
成年期	… P9	～	P12
熟年期	… P13	～	P14
高齢期	… P15	～	P17
指標一覧	… P18	～	P20

人生の期別	幼年期(生まれてから小学校就学前)
基本方針	誰もが安心して子どもを生み育てることができ、子どもがいきいきと健やかに育つ環境を整えるために、家庭・地域・関係機関と連携しながら、妊娠・出産・育児・就学前保育・教育を香南市がサポートしていく施策を展開します。また、香南市で子どもを生んで育てたいと思える環境づくりを推進します。

★目標 妊産婦の安心で安全な環境づくりの推進

	年度	H30 (基準値)	R1 (参考値)	R2	R3	R4	R5	R6	評価(C)	健康対策課
		目標値(P)	13.2%	13.4%	21.0%	21.0%	21.0%	21.0%		
実績値	20.8%	17.4%	18.5%							
達成(評価)(C)	A	A	B							
事業内容(D)	◆妊娠期と授乳期の栄養、出産準備、産後の生活、出産前後の身体の変化、母乳栄養、沐浴体験などを教室で実施。安心して妊娠・出産・育児ができるように支援。また、妊婦同士の交流や、父親の役割を考える機会ともなり父親の育児参加の支援の場にもなっている。									
現状と課題(C)	コロナウイルス対策として定員4組で実施した。申し込み多数により教室開催数を増加し、教室を11回開催した。				今後に向けた具体的な取組(A)			妊婦だけではなく夫等多くの方に参加してもらえるように夫への健康教育等内容を変更し、休日開催を含め実施する。次年度も対象者が参加しやすいようアンケートに基づいた教室内容の構成に取り組み、平日午後開催・土日開催を継続していく。		

★目標 親と子の心と体の健康づくり

	年度	H30 (基準値)	R1 (参考値)	R2	R3	R4	R5	R6	評価(C)	健康対策課
		目標値(P)	96.0%	96.0%	96.0%	96.0%	96.0%	96.0%		
実績値	95.0%	96.5%	97.0%							
達成(評価)(C)	-	-	A							
事業内容(D)	◆1・7ヶ月健診を受診される保護者の思いを確認し、育児不安の解消と、乳児家庭の孤立化を防ぎ、必要な支援につなげこの地域で子育てをしたいと思う家族を増やせるようにしていく。									
現状と課題(C)	コロナウイルス感染症拡大の影響で5月の1・7健診は中止になり、受診できていない未受診児に対しては受診機会を別日で案内した。コロナウイルス感染症対策を取りながら健診を実施した。				今後に向けた具体的な取組(A)			コロナウイルス感染症対策を取りながら育児不安の解消など必要な支援を行っており、今後も感染症対策を行いながら家庭や保護者の状況等を考慮しながら個別対応をしていく。		

	年度	H30 (基準値)	R1 (参考値)	R2	R3	R4	R5	R6	評価(C)	健康対策課
		目標値(P)	80.0%	80.0%	80.0%	80.0%	80.0%	80.0%		
実績値	73.8%	73.2%	80.8%							
達成(評価)(C)	-	-	A							
事業内容(D)	◆1・7ヶ月健診を受診される保護者の思いを確認し、育児不安の解消と、乳児家庭の孤立化を防ぎ、必要な支援につなげ楽しくゆったりとした気持ちで子育てできる母親を増やせる環境を整えていく。									
現状と課題(C)	コロナウイルス感染症拡大の影響で5月の1・7健診は中止になり、受診できていない未受診児に対しては受診機会を別日で案内した。コロナウイルス感染症対策を取りながら健診を実施した。				今後に向けた具体的な取組(A)			コロナウイルス感染症対策を取りながら育児不安の解消など必要な支援を行っており、今後も感染症対策を行いながら家庭や保護者の状況等を考慮しながら個別対応をしていく。		

	年度	H30 (基準値)	R1 (参考値)	R2	R3	R4	R5	R6	評価(C)	健康対策課
		目標値(P)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%		
実績値	97.5%	98.6%	98.6%							
達成(評価)(C)	B	B	B							
事業内容(D)	◆生後4カ月までの乳児がいるすべての家庭を保健師が産後早期に(生後28日未満)に訪問し、子どもの発達状況や母親の健康状態を確認し、育児不安の解消と、乳児家庭の孤立化を防ぎ、必要な支援につなげ、乳児の健全な生育環境の確保に努める。									
現状と課題(C)	100%に達していないが、来所等で面接し全員の把握はできている。里帰り出産や長期入院の場合には新生児期を過ぎた訪問となるが、早期に連絡をとり、電話での相談対応や帰宅後スムーズな対応ができるようにしている。				今後に向けた具体的な取組(A)			引き続き、保健師が全数を対象とし新生児訪問と兼ねて「こんにちは赤ちゃん事業」を実施する。また、R2年10月1日以降に出生した産婦に対して産後2回(2週間・1ヶ月)産婦健診が開始されるため産後うつ等精神不調への支援を産科医療機関等と連携しながら行っていく。R3年4月からは未熟児に対してはより専門的な相談に対応できるよう、助産師との同行訪問を予定している。		

5	育児教育相談利用者数(延)	年度	H30 (基準値)	R1 (参考値)	R2	R3	R4	R5	R6	評価(C)	子ども課 【設定根拠】 H26からの5年平均603人から 周知による増加を見込む	
		目標値(P)	562人	562人	650人	650人	650人	650人	650人			B
		実績値	723人	636人	527人							
		達成(評価) (C)	A	A	B							
事業内容(D)	<p>◆教育相談を夜須公民館で月1回、ほのぼの相談を森田村塾で月3回程度開催。 さまざまな悩みや不安を抱えている就学前保護者を対象に教育相談(子ども相談室)、小中学校保護者を対象にほのぼの相談を行っている。 ※指標の性質上、相談が多ければ良いというものではなく、相談窓口(手段)を広げ、その内容に対応できる環境づくりを目指している。 (R3.3月末実績内訳:子ども相談31、ほのぼの来所134、ほのぼの電話164、子育て支援センター5カ所198件)</p>											
現状と課題(C)	過去の実績からも年度によって利用者数の変動が大きい が、悩みはあるものの、相談窓口があることを知らない、 あるいはよくわからないという保護者もいると考えられる。 H14から約20年間開催してきた子ども相談室は、関わって きた相談者が成長したことや十分なカウンセリングを行う など一定の役割を終えたことにより令和3年3月末をもっ て終了した。				今後に向けた 具体的な取組(A)		教育相談を利用することへのハードルを下げるた めに、保育所や幼稚園、総合子育て支援センター 「にこなん」等で保護者から相談を受けた場合、必 要に応じて教育相談の紹介を行うとともに、施設 職員を中心に、窓口を知らない方への周知も積極 的に行っていく。 また、「にこなん」では、これまでの子育て相談に 加えて、子ども発達相談など充実させ支援を継続 する。					

★目標 子どもと子育て家庭に優しい環境づくり

6	地域子育て支援センター利用者数	年度	H30 (基準値)	R1 (参考値)	R2	R3	R4	R5	R6	評価(C)	子ども課 【設定根拠】 教育振興基本計画後期計画 のH33年度末目標数値は 7000人以上であるが、実態を 考慮し増加を見込む	
		目標値(P)	9,000人	9,000人	10,800人	10,800人	10,800人	10,800人	10,800人			B
		実績値	8,436人	11,175人	10,197人							
		達成(評価) (C)	B	A	B							
事業内容(D)	<p>◆総合子育て支援センター「にこなん」及び広場4ヶ所では、妊婦や0歳から就学前の子どもと保護者等を対象に、育児相談や交流の場の提供、子育て関連情報の提供などの子育て支援を行っている。 ◆保健師との連携により、健診等で気になる親子への支援センター利用を促し、親子が孤立したりしないように、いつでも相談できる支援者の存在を知ってもらう。 ◆子育て支援の各種行政サービスや地域の子育てに関する情報を冊子にまとめた「香南市子育てガイドブック」を作成。また、ホームページで子育て情報を発信し、合わせて、登録した子育て世帯へメール配信等で、各種健診や予防接種、育児学級など子育てに関するタイムリーな情報も提供していく。</p>											
現状と課題(C)	コロナ過で4.5月に開所できなかったことや、6月以降も 利用人数制限をしたうえで開所であったにもかかわらず、 目標値を大きく下回ることにならなかった。 乳幼児と父親と一緒に利用するケースも増えており、利 用周知が図られていると感じる反面、利用に至っていない 保護者もいると考えられるため、今後も情報発信を高め ていく必要がある。				今後に向けた 具体的な取組(A)		就学前の保護者の子育てに対する不安感や悩み を軽減し、子育てに活かしていただけるよう、「子 育てキッズ」サイトの情報充実を図っていく。 スマートフォンアプリ等の情報発信ツール「LINE」 で情報発信できるようにシステム改修及び子育てガ イドブックをリニューアルする予定で、それをき っかけに、「にこなん」利用者の増加につなげてい く。					
7	保育所の一時預かり数(延)	年度	H30 (基準値)	R1 (参考値)	R2	R3	R4	R5	R6	評価(C)	子ども課 【設定根拠】 第2期子ども・子育て支援事 業計画の量の見込みは1200 人前後であるが、実態を考慮 し増加を見込む	
		目標値(P)	838人	838人	1,300人	1,300人	1,300人	1,300人	1,300人			A
		実績値	1,229人	1,470人	1,347人							
		達成(評価) (C)	A	A	A							
事業内容(D)	<p>◆保護者の病気等により、家庭において一時的に保育することが困難になった、満1歳から就学前までの子どもの一時預かりを3保育所(赤岡、香我美おれんじ、夜須)で実施している。利用日数は週3日を限度とし、出産・入院中は限度日数について相談に応じる。</p>											
現状と課題(C)	継続して利用する子どももおり、引き続き利用者の増加を 目指していく。				今後に向けた 具体的な取組(A)		保護者のニーズに応えられるよう、受け入れ体制 を整えていく。					
8	市のHP(子育て情報サイト)へのアクセス数	年度	H30 (基準値)	R1 (参考値)	R2	R3	R4	R5	R6	評価(C)	子ども課 【設定根拠】 教育振興基本計画後期計画 のH33年度末目標数値は 6000回以上であるが、実態を 考慮し増加を見込む	
		目標値(P)	5,000回	6,000回	9,000回	9,000回	9,000回	9,000回	9,000回			B
		実績値	6,031回	9,063回	8,798回							
		達成(評価) (C)	A	A	B							
事業内容(D)	<p>◆市ホームページで子育て情報を発信し、合わせて、登録した子育て世帯へメール配信等で、各種健診や予防接種、育児学級など子育てに関するタイムリーな情報も提供しているほか、子育て支援の各種行政サービスや地域の子育てに関する情報を冊子にまとめた「香南市子育てガイドブック」を作成し啓発している。</p>											
現状と課題(C)	登録された子育て世帯には、メルマガとして「エブロンだより」と「すこやか通信」をメール配信し、各種健診や予防接種、育児学級など子育てに関するタイムリーな情報も提供している。				今後に向けた 具体的な取組(A)		多くの場面で今まで以上に啓発活動に努めると ともに、関連する部署と連携し内容の充実を図 っていく。 メルマガ配信内容の工夫を図るとともに、ユー ザーにマッチした情報発信に取り組むため、ス マートフォンアプリ等の情報発信ツール「LINE」 へ対応するなど、ホームページ「香南キッズ」の リニューアルを行う。					

9	こうなんファミリーサポートセンター 会員数	年度	H30 (基準値)	R1 (参考値)	R2	R3	R4	R5	R6	評価(C)	こども課 【設定根拠】 教育振興基本計画後期計画のH33年度末目標数値は150人であるが、実態を考慮し年10人増
		目標値(P)	80人	110人	90人	100人	110人	120人	130人	B	
		実績値	74人	86人	102人						
		達成(評価)(C)	B	B	B						
事業内容(D)	◆子育て中の家庭を支援するため、子育ての援助をしてほしい会員(おねがい会員)と、子育ての応援ができる会員(まかせて会員)との相互援助活動に関する連絡、調整を行う。 ※R1実績86人(内訳:おねがい会員52人、まかせて会員33人、両方会員1人)を基に、R3目標100人(内訳:おねがい会員55人、まかせて会員45人)に設定。										
	現状と課題(C)	R3.3月末現在で、おねがい会員65人、まかせて36人、両方会員1人。共働き家庭などのニーズは高まっているが、ボランティアのなり手が不足しており、まかせて会員数は伸び悩んでいる。また、マッチングに苦慮するケースや会員登録はしているものの活動にいたらない会員も多い。令和2年4月から、まかせて会員が、公共施設(のいちふれあいセンター内「にこにこルール」)及び総合子育て支援センター「にこなん」においても活動できるようになった。				今後に向けた 具体的な取組(A)		今後も社会福祉協議会と協働し、子育てに関して経験豊富な保育士OBに声かけを行うなど受け皿となるまかせて会員の確保に努める。また、感染予防対策を実施したうえで、子育て援助活動を継続していく。			

★目標 質の高い保育・教育の推進

10	本の読み聞かせ回数	年度	H30 (基準値)	R1 (参考値)	R2	R3	R4	R5	R6	評価(C)	生涯学習課 【設定根拠】 生涯学習推進計画 教育振興基本計画後期計画
		目標値(P)	100回	100回	100回	100回	100回	100回	100回	C	
		実績値	102回	104回	52回						
		達成(評価)(C)	A	A	C						
事業内容(D)	◆読書ボランティア団体の支援も受けながら、積極的な読み聞かせを実施している。また、イベント時には大型スクリーンや音響設備を使つての読み聞かせを行うことで、参加者の興味をひく工夫を行っている。 野市図書館:週1回、香我美図書館:週1回、夜須図書館:未実施										
	現状と課題(C)	新型コロナウイルス拡大により、4-7月は開催中止し、8月より一部制限を設けての実施となったため、当初計画のPR強化策は未実施となった。				今後に向けた 具体的な取組(A)		コロナ対策として、以下の新生活様式に基づく対応を継続する。 ・3密を防ぐために、好天日は中庭で開催。 ・人員制限:入室可能人数を設定(2家庭まで) ・マスク着用、手指消毒の完全実施。 ・他イベントでの読み聞かせ折込強化。			
11	朝食摂取割合(3歳児)	年度	H30 (基準値)	R1 (参考値)	R2	R3	R4	R5	R6	評価(C)	健康対策課 【設定根拠】 食育推進計画
		目標値(P)	98.0%	98.0%	98.0%	98.0%	98.0%	98.0%	98.0%	B	
		実績値	93.9%	96.5%	96.4%						
		達成(評価)(C)	B	B	B						
事業内容(D)	◆保育所・幼稚園では、食べる楽しさや食べ物のおいしさを知り、生活リズムの基礎や正しい食習慣を身につけ、食を楽しむ心を育てるような事業を実施し、子育て支援センターでは、食育講演会や試食等を通じて食を楽しむ心を育てている。 ◆家庭や保育所、幼稚園と連携した食育の取組み、食べることの楽しさや食への関心を高め、食を通じた体験などで食を楽しむ心を育てることの大切さを啓発する。また、幼児期からの望ましい生活習慣の改善に向け子どもの保護者向けに乳幼児健診等でのアドバイスを行っている。 ◆幼児健診時のアンケート調査で朝食を毎日食べている子ども(3歳児)の割合を算出。										
	現状と課題(C)	毎日朝食を食べている子どもの割合は前年度より増加している。これまでに若干数見られた週3~4回食べない、又は食べない子どもは0%であった。				今後に向けた 具体的な取組(A)		保育所、幼稚園、食生活改善推進員協議会、子育て支援センターと連携し食育事業を実施する。乳幼児健診では、個別相談に応じ、状況に応じた支援を行う。SNSを利用した啓発を行う。			

★目標 すべての子どもの成長を保障する環境づくり

12	ひとり親家庭医療費助成利用者数【就学期No.25同指標】	年度	H30 (基準値)	R1 (参考値)	R2	R3	R4	R5	R6	評価(C)	市民保険課 【設定根拠】
		目標値(P)	-	-	-	-	-	-	-	*	
		実績値	677人	676人	668人						
		達成(評価)(C)	*	*	*						
事業内容(D)	◆ひとり親家庭医療費助成事業:配偶者のいない父又は母と18歳未満の子ども(所得税非課税世帯又は世帯の総所得が200万円以下【市単独】)等に対して、医療費の一部負担金を助成する。 (参考) ◆児童扶養手当、母子家庭等自立支援事業(就労に結びつく資格を取得するための受講料や生活費の補助)がある。【全国一律】 ◆母子生活支援施設への入所委託事業がある。【全国一律】 ◆父または母と生活を共にしていない児童を養育している母子・父子家庭等の生活の安定と自立を助ける為の手当支給:DV被害者など児童のいる要保護者の入所支援・自立支援給付 ◆子育て短期ショートステイ:子育てに疲れた時などに子どもを施設で預かり、保護者の精神面のフォローを行う。【全国一律】 ◆①ひとり親家庭医療費助成事業(保)②奨学金貸付(学)③就学援助費支給(学)④特別支援教育修学奨励費(学)等に対し香南市募婦(夫)控除のみなし適用を実施する。										
	現状と課題(C)	R2.4~児童扶養手当が市民保険課に移管されたことで、申請窓口・問合せ先が統一され、申請者の利便性が向上した。				今後に向けた 具体的な取組(A)		課内での連携強化及び他課との連携を深め、必要な窓口適切につなげるよう手続きの一覧表の追加・修正を適宜行う。			

人生の期別	就学期(小学校から高校)
基本方針	豊かな心を持ち、たくましく健やかに子どもが育つ環境を整えるために、家庭・地域・関係機関と連携しながら、香南市がサポートしていく施策を展開します。 また、地域社会の見守り、就学支援、質の高い教育環境を整えることなどによって、香南市で子どもを育てたいと思える環境づくりを推進します。

★目標 豊かな人間形成を育む環境づくり

13	スポーツ少年団の団体数	年度	H30 (基準値)	R1 (参考値)	R2	R3	R4	R5	R6	評価(C)	生涯学習課
		目標値(P)	28団体	28団体	29団体	29団体	29団体	30団体	30団体	B	【設定根拠】 生涯学習推進計画 教育振興基本計画 後期計画
		実績値	26団体	26団体	27団体						
		達成(評価) (C)	B	B	B						
事業内容(D)		体力の増進、心の健康づくりに有効であるスポーツ活動の推進を図る。また、誰もが自分に合ったスポーツに親しめるようにスポーツ環境の充実を図る。 ◆スポーツ教室及び各種スポーツ大会の開催。 ◆スポーツ少年団やサークルの活動支援。									
現状と課題(C)		R2は、レスリング、野球の2団体が新規登録となり、野球1団体は脱退している。少子化が進む中、数あるスポーツ種目をほぼ網羅しておりニーズは満たされている。				今後に向けた具体的な取組(A)		団体が継続して活動できる環境づくりとして体育館など活動場所や指導者などの確保、又、施設整備の改修を行う。			
14	スポーツ少年団の会員数	年度	H30 (基準値)	R1 (参考値)	R2	R3	R4	R5	R6	評価(C)	生涯学習課
		目標値(P)	610人	620人	610人	610人	610人	610人	610人	B	【設定根拠】 生涯学習推進計画 教育振興基本計画 後期計画
		実績値	532人	521人	440人						
		達成(評価) (C)	B	B	B						
事業内容(D)		体力の増進、心の健康づくりに有効であるスポーツ活動の推進を図る。また、誰もが自分に合ったスポーツに親しめるようにスポーツ環境の充実を図る。 ◆スポーツ教室及び各種スポーツ大会の開催。 ◆スポーツ少年団やサークルの活動支援。									
現状と課題(C)		団体数は1増であるが、過半数の団体が部員が減少している。少子化や余暇活動の多様化等で会員数の減少が懸念される。				今後に向けた具体的な取組(A)		関係団体等の広報活動やスポーツ推進委員等の協力を得て、団体のPRを行い、各種スポーツ体験にも参加していただき会員増を目指す。			
15	夏休み子ども教室の開催 (参加人数)	年度	H30 (基準値)	R1 (参考値)	R2	R3	R4	R5	R6	評価(C)	生涯学習課
		目標値(P)	-	-	400人	400人	400人	400人	400人	*	【設定根拠】 生涯学習推進計画 教育振興基本計画 後期計画R3年度末目標数値 (310人)
		実績値	381人	358人	0人						
		達成(評価) (C)	-	-	*						
事業内容(D)		◆学校以外での子どもの学習・体験活動の機会の創出・拡充のため各公民館で主に小中学生対象の夏休み教室を開催している。									
現状と課題(C)		学年・男女に関係なく参加できることを念頭に置いて開催(全30教室程度)している。R2は新型コロナウイルス感染症の影響を鑑み、開催していない。				今後に向けた具体的な取組(A)		新型コロナウイルス感染症の懸念が続くことを想定し、少数開催や、オンライン教室の手法などを考案する。			

★目標 子ども・親・家庭に優しい環境づくり

16	児童クラブの利用者数	年度	H30 (基準値)	R1 (参考値)	R2	R3	R4	R5	R6	評価(C)	子ども課
		目標値(P)	385人	385人	385人	450人	450人	450人	450人	B	【設定根拠】 教育振興基本計画後期計画 のR3年度末目標数値は385人であるが、R3から2カ所増えることを見込む。
		実績値	370人	390人	397人						
		達成(評価) (C)	B	A	B						
事業内容(D)		◆児童クラブを6小学校10か所で開催、共働き家庭等の児童(1～6年生)を放課後から18時(一部18時30分)まで預かっている。 ※R2.4.1現在の入会児童は、野市小139人、佐古小78人、野市東小76人、赤岡小7人、香我美小58人、夜須小39人。(待機児童は、野市小38人、佐古小8人、香我美小14人)									
現状と課題(C)		待機児童の生じていた野市小・香我美小で放課後児童クラブの新設工事を行ったことで、R3年度に向けての施設環境を整えることができたが、受け皿となる支援員の確保が最重要課題となっている。				今後に向けた具体的な取組(A)		具体的には、ハローワークや広報誌などの媒体を使った情報発信をはじめ、現在勤務している支援員や、児童クラブを利用している保護者へ支援員募集を呼びかけたり、小学校や中学校で働く特別支援教育支援員などへアプローチするなど、あらゆる手段を講じて求人の開拓を行っている。また、より柔軟な運営を図るため民営化を検討する。			

★目標 親と子の心と体の健康づくり

17	朝食摂取割合(小学生)	年度	H30 (基準値)	R1 (参考値)	R2	R3	R4	R5	R6	評価(C)	学校教育課	
		目標値(P)	96.0%	96.0%	96.0%	96.0%	96.0%	96.0%	96.0%	96.0%	*	【設定根拠】 食育推進計画(健康対策課)
		実績値	95.0%	94.1%	-							
		達成(評価) (C)	B	B	*							
事業内容(D)	◆香南市全ての小学5年生を対象にした朝食づくり料理教室を開催し、朝食の効果や大切さなどについて学ぶことにより、朝食摂取や内容の改善に向けて意識の向上を図る。											
現状と課題(C)	R2は新型コロナウイルス感染症による影響で全国学力・標準学力調査中止となかったため、朝食摂取割合は調査することができなかったが、11月に実施した高知県児童生徒学習状況調査(小6対象)では、「朝食を毎日食べている」の設問に対して、「している」どちらかといえばしている」と回答した児童は95.7%であった。			今後に向けた具体的な取組(A)			香南市食育推進検討委員会で食育だよりを作成し、市内の保育園・幼稚園・小学校・中学校の児童生徒に配布した。今回の食育だよりは朝食をテーマとし、朝食の効果や大切さなどについて改めて啓発をした。来年度以降も食育だよりを作成するとともに、朝食づくり事業についても実施していく。					

★目標 学校と地域の連携による教育環境づくり

18	将来の夢を持つ児童生徒の割合(小学校)	年度	H30 (基準値)	R1 (参考値)	R2	R3	R4	R5	R6	評価(C)	学校教育課	
		目標値(P)	87.0%	87.5%	90.0%以上	95.0%以上	95.0%以上	95.0%以上	95.0%以上	95.0%以上	*	【設定根拠】 全国学力学習状況調査 小学6年生が対象
		実績値	98.4%	88.8%	-							
		達成(評価) (C)	A	A	*							
事業内容(D)	◆地方自治の仕組みや地域活動の重要性、社会全般での生きる力等の教育の推進を行う。(各校におけるキャリア教育の推進と児童生徒の市民としての社会性を育む教育の推進。) ◆地域学校協働本部事業により、学校・家庭・地域が連携し、学校の応援団として教育活動支援や環境整備への協力をを行い、また、土曜授業の開催を活用して学校の教育活動への理解を深め、その協力や参加によって、学校・家庭・地域が一体となって、地域ぐるみで子どもを育てることを推進する。											
現状と課題(C)	R2は、新型コロナウイルスの影響で、全国学力学習状況調査は実施しない事になったため、実績値を出すことができない。			今後に向けた具体的な取組(A)			基本的な生活習慣の確立・学力の向上・社会性の育成など、キャリア教育のねらいに沿った取組を今後も推進する。地域学校協働本部事業の拡大や土曜授業の活性化を図り、地域ぐるみ教育を推進する。					
19	将来の夢を持つ児童生徒の割合(中学校)	年度	H30 (基準値)	R1 (参考値)	R2	R3	R4	R5	R6	評価(C)	学校教育課	
		目標値(P)	75.5%	76.0%	77.0%以上	77.0%以上	77.0%以上	78.0%以上	78.0%以上	78.0%以上	*	【設定根拠】 全国学力学習状況調査 中学3年生が対象
		実績値	74.7%	76.8%	-							
		達成(評価) (C)	B	A	*							
事業内容(D)	◆地方自治の仕組みや地域活動の重要性、社会全般での生きる力等の教育の推進を行う。(各校におけるキャリア教育の推進と児童生徒の市民としての社会性を育む教育の推進。) ◆地域学校協働本部事業により、学校・家庭・地域が連携し、学校の応援団として教育活動支援や環境整備への協力をを行い、また、土曜授業の開催を活用して学校の教育活動への理解を深め、その協力や参加によって、学校・家庭・地域が一体となって、地域ぐるみで子どもを育てることを推進する。											
現状と課題(C)	R2は、新型コロナウイルスの影響で、全国学力学習状況調査は実施しない事になったため、実績値を出すことができない。職場体験学習や「総合的な学習の時間」が実施についても未定。			今後に向けた具体的な取組(A)			社会の一員であることの意識や社会貢献への意識を高めることを目指し、職場体験学習や「総合的な学習の時間」の更なる充実を推進する。地域学校協働本部事業の拡大や土曜授業の活性化を図り、地域ぐるみ教育を推進する。					
20	地域学校協働本部における1校あたり年間活動のべ日数	年度	H30 (基準値)	R1 (参考値)	R2	R3	R4	R5	R6	評価(C)	学校教育課	
		目標値(P)	-	-	100日以上	110日以上	120日以上	135日以上	150日以上	A	【設定根拠】 教育振興基本計画 後期計画	
		実績値	-	-	147日							
		達成(評価) (C)	*	*	A							
事業内容(D)	◆学校・家庭・地域が連携協力し、地域全体で子どもたちを育む体制づくりを目指し、授業等における学習補助や教員の業務補助などの教育支援活動を行う。 ◆地域学校協働活動を年間活動累計100日以上を目指し、充実した地域学校協働活動を各学校に定着させる。											
現状と課題(C)	コロナ禍で5月初めまで学校が休業となった影響で授業確保が優先されたことや、地域人材の学校への立ち入りもお互いが遠慮したこともあり、本格実施は2学期からとなった学校がほとんどである。その中でも登下校見守りや、感染防止対策を取りながらの学習支援等、できることから活動している。			今後に向けた具体的な取組(A)			地域学校協働本部によるボランティア活動を、子ども見守り体制に活かす。地域ボランティアを募集し、住民による学習支援・部活動支援・見守り活動・地域活動への支援を呼び掛ける。年間活動累計1校平均、のべ150日以上を目指す。					

★目標 すべての子どもの成長を保障する環境づくり

	年度	H30 (基準値)	R1 (参考値)	R2	R3	R4	R5	R6	評価(C)	学校教育課
21	不登校児童生徒の発生率 (小学校)	0.8%以下	0.7%以下	0.6%以下	0.5%以下	0.5%以下	0.5%以下	0.5%以下	C	【設定根拠】 教育振興基本計画後期計画 【実績値】高知県生徒指導上の 諸課題・児童虐待に関する 調査(7月)
	実績値	0.62%	1.16%	1.18%						
事業内容(D)	◆家庭における児童療育の技術に関すること及び児童にかかわる家庭の人間関係に関すること、その他家庭児童の福祉に関することの相談指導を行う。 ⇒(児童生徒は森田村塾で受け入れている) ◆子どもをとりまく環境に働きかけ、関係機関と連携し、支援を充実する。									
	現状と課題(C)	全ての小学校で「魅力ある学校づくり」に向けた取組を実施したが、不登校児童を無くすという課題は、解決には至っていない。 年間3回行う意識調査の結果をもとに話し合い、新たな不登校を生まない未然防止の継続的な取組が必要である。				今後に向けた 具体的な取組(A)		香南市全ての小学校で「魅力ある学校づくり」に向けた取組を実施し、新規の不登校児童が出ないよう未然防止に取り組む。 SSWやSCを有効的に活用し、学校・家庭・関係機関の連携強化を図り、不登校児童発生率0.5%以下を目指す。		
22	不登校児童生徒の発生率 (中学校)	4.5%以下	4.0%以下	4.0%以下	3.5%以下	3.5%以下	3.5%以下	3.5%以下	B	【設定根拠】 教育振興基本計画後期計画 【実績値】高知県生徒指導上の 諸課題・児童虐待に関する 調査(7月)
	実績値	5.41%	4.86%	4.73%						
事業内容(D)	◆家庭における児童療育の技術に関すること及び児童にかかわる家庭の人間関係に関すること、その他家庭児童の福祉に関することの相談指導を行う。 ⇒(児童生徒は森田村塾で受け入れている) ◆子どもをとりまく環境に働きかけ、関係機関と連携し、支援を充実する。									
	現状と課題(C)	全ての中学校で「魅力ある学校づくり」に向けた取組を実施し、不登校生徒が出ない取組を行った。 R1から実績値は減少傾向にあるが、目標値の達成には至っていない。PDCAシートを使った話し合いを行い、新たな不登校を生まない未然防止の継続的な取組が必要である。				今後に向けた 具体的な取組(A)		全中学校で「魅力ある学校づくり」に向けた取組を実施し、教員の同僚性・関係機関の連携等をいかした取組を推進する。また野市中学校が行っている取組を市内の学校に普及する。 SSWやSCを有効的に活用し、学校・家庭・関係機関の連携強化を図り、不登校生徒の発生率3.5%以下を目指す。		
23	スポーツ大会参加者数 (小中高高校生対象)	-	-	1,100人	1,100人	1,100人	1,100人	1,100人	C	【設定根拠】 対象大会:サッカー大会(小/中)、野球大会(小・中)、相撲大会(3種類)
	実績値	345人	1,024人	604人						
事業内容(D)	体力の増進、心の健康づくりに有効であるスポーツ活動の推進を図る。また、誰もが自分に合ったスポーツに親しめるようにスポーツ環境の充実を図る。 ◆スポーツ教室及び各種スポーツ大会の開催。 ◆スポーツ少年団やサークルの活動支援。 (生涯スポーツのきっかけとなる小中高高校生を対象としたスポーツ大会の開催及び支援) ※野球、サッカー(小中)の3大会参加者数は、H26:1050人、H27:1047人、H28:1014人、H29:1110人、H30:183人(サッカー大会荒天中止)R2:中学校相撲22人、サッカー小中570人、高校相撲大会12人。									
	現状と課題(C)	高知県中学校相撲選手権大会と市長杯サッカー大会(小中学生)、高校相撲大会を実施。 コロナの影響でR2は中止が多かったが、来年度開催できるように支援していく。				今後に向けた 具体的な取組(A)		現行大会について関係団体等を通じて周知を図り、参加者数の安定を目指しつつ、運営団体の育成を図り各種スポーツの楽しさを共感できる指導に取り組む。		
24	こどもよさこい参加者数	100人	100人	100人	100人	100人	100人	100人	*	【設定根拠】 よさこい祭り参加実行委員会 会則
	実績値	98人	85人	0人						
事業内容(D)	◆高知県の一イベントである「よさこい祭り」に参加することで、子どもたちに知識や経験を培う学習機会を持たすことを目的とし、保護者や地域間の繋がりの強化を図ることが目的であり、かつ他の小学校の子どもたちと一緒にチームを作り上げることで日頃感じない感覚や共存・共感の育成を図ることを大きな目標として実施している。									
	現状と課題(C)	R2は高知よさこい祭りやその他のイベント等が中止となっており、こどもよさこいの活動ができない状態であった。 近年、参加者が減少しつつあるが、学校やPTAへの呼びかけをより一層行い参加者を増やしていきたい。 スタッフについては、近年、市職員から各団体や保護者へ移行している状態である。今後は、役割分担をより明確にし今以上のスタッフを確保したい。				今後に向けた 具体的な取組(A)		保護者や地域団体にスタッフとしての協力を呼びかけ、保護者や地域の団体に構成する組織に変更していく。		

25	ひとり親家庭医療費 助成利用者数 【幼年期No.12と同指標】	年度	H30 (基準値)	R1 (参考値)	R2	R3	R4	R5	R6	評価(C)	市民保険課 【設定根拠】	
		目標値(P)	-	-	-	-	-	-	-	-		*
		実績値	677人	676人	668人							
		達成(評価) (C)	*	*	*							
	事業内容(D)	<p>◆ひとり親家庭医療費助成事業:配偶者のいない父又は母と18歳未満の子ども(所得税非課税世帯又は世帯の総所得が200万円以下【市単独】)等に対して、医療費の一部負担金を助成する。 (参考) ◆児童扶養手当、母子家庭等自立支援事業(就労に結びつく資格を取得するための受講料や生活費の補助)がある。【全国一律】 ◆母子生活支援施設への入所委託事業がある。【全国一律】 ◆父または母と生活を共にしていない児童を養育している母子・父子家庭等の生活の安定と自立を助ける為の手当支給:DV被害者など児童のいる要保護者の入所支援・自立支援給付 ◆子育て短期ショートステイ:子育てに疲れた時などに子どもを施設で預かり、保護者の精神面のフォローを行う。【全国一律】 ◆①ひとり親家庭医療費助成事業(保)②奨学資金貸与(学)③就学援助費支給(学)④特別支援教育修学奨励費(学)等に対し香南市寡婦(夫)控除のみなし適用を実施する。</p>										
	現状と課題(C)	R2.4~児童扶養手当が市民保険課に移管されたことで、申請窓口・問合せ先が統一され、申請者の利便性が向上した。				今後に向けた 具体的な取組(A)		課内での連携強化及び他課との連携を深め、必要な窓口適切につなげるよう手続きの一覧表の追加・修正を適宜行う。				
26	児童生徒の肥満傾向率(小 学5年)	年度	H30 (基準値)	R1 (参考値)	R2	R3	R4	R5	R6	評価(C)	学校教育課 【設定根拠】 全国体力運動能力調査 の平均値 香南市教育振興基本計画後 期計画の目標値10.0%以下	
		目標値(P)	11.5%以下	11.1%以下	11%以下	10.0%以下	10.0%以下	10.0%以下	10.0%以下	*		
		実績値	11.0%	11.55%	-							
		達成(評価) (C)	A	B	*							
	事業内容(D)	<p>◆スポーツ教室及び各種スポーツ大会の開催。 スポーツ少年団やサークルの活動支援。【生】 基本的な生活習慣の確立を推進する。【学】 体育の授業を改善する。【学】 運動への興味関心を高める活動を推進する。【学】</p>										
	現状と課題(C)	R2は、コロナの影響で全国体力運動能力調査は実施しないことになったが、小中学校で行っている健康診断の結果では16.8%であった。一斉臨時休業期間中の食生活、運動量が影響を及ぼしていると考えられる。				今後に向けた 具体的な取組(A)		生活習慣(早寝・早起き・朝ごはん)の確立を目指し、さらに家庭との連携を図る。運動量を確保した体育の授業の実施とともに、保健領域の学習内容も合わせて、指導の充実を図る。日常生活の中に体を動かす機会を設ける。香南市教育振興基本計画後期計画の目標数値に合わせ、10.0%以下を目指す。				
27	児童生徒の肥満傾向率 (中学2年)	年度	H30 (基準値)	R1 (参考値)	R2	R3	R4	R5	R6	評価(C)	学校教育課 【設定根拠】 全国体力運動能力調査 の平均値 香南市教育振興基本計画後 期計画の目標値10.0%以下	
		目標値(P)	9.5%以下	9.5%以下	11.0%以下	10.0%以下	10.0%以下	10.0%以下	10.0%以下	*		
		実績値	11.6%	11.05%	-							
		達成(評価) (C)	B	B	*							
	事業内容(D)	<p>◆スポーツ教室及び各種スポーツ大会の開催。 ・スポーツ少年団やサークルの活動支援。【生】 ・基本的な生活習慣の確立を推進する。【学】 ・体育の授業を改善する。【学】 ・運動への興味関心を高める活動を推進する。【学】</p>										
	現状と課題(C)	R2は、コロナの影響で全国体力運動能力調査は実施しないことになったが、小中学校で行っている健康診断の結果では8.7%であった。市全体の平均値としては目標を達成しているが、中学校区によって肥満率に差異が認められる。				今後に向けた 具体的な取組(A)		生活習慣(早寝・早起き・朝ごはん)の確立を目指し、さらに家庭との連携を図る。運動量を確保した体育の授業の実施とともに、保健領域の学習内容も合わせて、指導の充実を図る。日常生活の中に体を動かす機会を設ける。香南市教育振興基本計画後期計画の目標数値に合わせ、10.0%以下を目指す。				



人生の期別	成年期(就業から子育て期)
基本方針	誰もが参画できる地域社会を形成し、新たな出会いがあり、家庭を築き、安心して子どもを生み育てられ、生きがいを感じられる生活環境づくり、活気ある地域社会の形成を支援する施策を推進します。

★目標 いきいきと健やかな人に優しいまちづくりの推進

28	健康診査受診者数 (20～39歳)	年度	H30 (基準値)	R1 (参考値)	R2	R3	R4	R5	R6	評価(C)	健康対策課
		目標値(P)	110人	110人	115人	115人	115人	115人	115人	C	【設定根拠】 健康増進計画
		実績値	111人	85人	21人						
		達成(評価) (C)	A	B	C						
事業内容(D)		◆健康診査として集団健診で無料で実施中									
現状と課題(C)		新型コロナの緊急事態宣言により4月13日～6月末まで集団健診の中止。7月から再開するが、特定健診の対象外の20～39歳には積極的な受診勧奨を控えたため、受診者は減少した。					今後に向けた 具体的な取組(A)		R2年度途中で感染対策を徹底した新しい健診体制を確立。R3年度も健診体制は継続し、20～39歳の受診歴のある方には個別勧奨も再開する。		
29	社会参加のための外出 支援サービス利用者数 【熟年期No.54と同指標】	年度	H30 (基準値)	R1 (参考値)	R2	R3	R4	R5	R6	評価(C)	福祉事務所
		目標値(P)	-	-	23人	23人	23人	23人	23人	C	【設定根拠】 第5期障害福祉計画 ※移動支援事業(社協)含む
		実績値	6人	6人	1人						
		達成(評価) (C)	*	*	C						
事業内容(D)		◆身体障害者を移送用車両で送迎し、社会参加のための外出支援を行う。(肢体不自由の身体障害者手帳1～3級又は療育手帳のA1、A2又は精神保健福祉手帳の1級に該当するものうち、市民税非課税且つ病院や施設等に入院・入所していないものを対象に移動支援を行う) ◆屋外での移動が困難な障害のある方等に対し、外出時に介助などの支援を行う									
現状と課題(C)		移送車両等の移動支援を必要としている障害者のサービス利用を促進するよう、体制を確保し整える必要がある。今年度は、コロナの影響が利用者数が少ない。					今後に向けた 具体的な取組(A)		令和3年度施行の第6期障害福祉計画を本年度策定し、事業の普及啓発を継続すると共に、社会参加や外出支援の利用目的や方法を検討し、利用者にも柔軟な対応ができる事業運営を行っていく。		
30	成人歯科健診受診者数 (30歳)	年度	H30 (基準値)	R1 (参考値)	R2	R3	R4	R5	R6	評価(C)	健康対策課
		目標値(P)	-	-	25人	25人	25人	25人	25人	B	【設定根拠】 健康増進計画
		実績値	-	24人	23人						
		達成(評価) (C)	-	-	B						
事業内容(D)		◆R1年度からの新規事業 ◆年度年齢30歳に対して、実施期間内に委託歯科医療機関にて1回無料で口腔内診査(歯周病やむし歯の健診)を実施。									
現状と課題(C)		新型コロナのため、歯科医院への受診控えも影響している。市内の歯科医院に事業周知を行った。					今後に向けた 具体的な取組(A)		ホームページや特定健診など様々な機会を捉えて周知を図る。対象者には個別に受診票を配布済みのため、スムーズな受診に繋がるよう市内の歯科医院に事業説明を行う。		

★目標 出会い・新しい家庭づくり支援の推進

31	出会いの場の開催回数	年度	H30 (基準値)	R1 (参考値)	R2	R3	R4	R5	R6	評価(C)	地域支援課
		目標値(P)	3回	3回	3回	3回	4回	4回	4回	C	【設定根拠】 市主催事業+ 補助制度利用回数
		実績値	2回	2回	1回						
		達成(評価) (C)	B	B	C						
事業内容(D)		◆市主催事業として、結婚を希望する人が、お付き合いのマナーなどを学ぶライフプランセミナー(婚活イベント)を実施する。 ◆香南市恋いめぐりあい応援事業として、①出会いにつながるイベントや交際力の向上等を目的としたセミナーを開催する「イベント型事業」、②結婚に関する相談に対応する「相談窓口型事業」に対し、個人・団体に10万円を限度に補助制度を設けて応援する。②についてはH29年度より「よりあいにこ家」が継続して活動中。									
現状と課題(C)		「よりあいにこ家」による結婚相談窓口での補助制度1回が継続実施中。成婚者もあり、少しずつ成果が出ている。また補助金要綱を補助団体が活動しやすいよう改正を行った。しかし、H29以降は補助制度のうちイベント型事業での活用が無く、過去に利用実績のある団体への聞き取りでは、イベント開催について、募集～運営面で特に負担に感じる部分があるとのこと。イベントノウハウの共有をはじめサポート体制を整え、補助金の周知や活用に向け市内団体と連携していく必要がある。また、市主催の婚活セミナーについては、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、中止となった。					今後に向けた 具体的な取組(A)		広報等による周知の強化や、市内の各団体に対し「高知で恋しよ!!応援サイト」の応援団への登録を推進するとともに、応援団登録団体へイベント開催への働きかけを行う。その中では、イベント開催について様々な面でサポートを行うことも説明していき、行政と各団体をはじめ地域全体で出会いの場の提供に対する理解を深め、少子化対策への機運を高める。		

32	出会うの場の参加人数	年度	H30 (基準値)	R1 (参考値)	R2	R3	R4	R5	R6	評価(C)	地域支援課
		目標値(P)	60人	200人	100人	100人	120人	120人	120人	B	【設定根拠】 イベント型事業定員数及び 相談窓口型事業前年度実績
		実績値	141人	77人	95人						
		達成(評価) (C)	A	C	B						
事業内容(D)		<p>◆市主催事業として、結婚を希望する人が、お付き合いのマナーなどを学ぶライフプランセミナー(婚活イベント)を実施する。 ◆香南市恋いめぐりあい応援事業として、①出会いにつながるイベントや交際力の向上等を目的としたセミナーを開催する「イベント型事業」、②結婚に関する相談に対応する「相談窓口型事業」に対し、個人・団体に10万円を限度に補助制度を設けて応援する。②についてはH29年度より「よりあいにこ家」が継続して活動中。 目標内訳:市主催事業20名、相談窓口型事業60名、イベント型事業1回20名</p>									
現状と課題(C)		<p>セミナー、相談窓口と事業が実施されているが、今後はイベント型事業での参加者を増やすことで様々な未婚男女のニーズに応えられるようにすることが課題。また今年度より「よりあいにこ家」が活動の場を移す準備のため、スタートが6月からとなったが、相談対応者数は例年より多くなっており、活動内容を広報誌に掲載したことや、ポスター・チラシを用いての広報活動が功を奏し、相談が増加した。今後も継続して活動を行ってもらえるようにサポートを続けていく。また、市主催の婚活セミナーについては、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、中止となった。</p> <p>今後にに向けた 具体的な取組(A)</p> <p>市主催事業としては結婚を望む独身男女やその家族を対象に、婚活のためのスキルアップセミナーを実施予定。(内容は年度毎に検討。)今年度からはセミナー参加申し込みを高知県が運営する「高知で恋しよ!!応援サイト」での受付に変更し、婚活に対して積極的に取り組んでいる方により効果的に広報できるようにした。また、「よりあいにこ家」による相談窓口型事業は継続中。補助金の周知及び活用の促進を行い、申請団体には計画段階からサポートをしていくことで、市内団体との連携を図り、イベント数の増加やそれに伴う参加者数の増加に繋げていく。</p>									
33	結婚新生活支援事業 補助金活用件数	年度	H30 (基準値)	R1 (参考値)	R2	R3	R4	R5	R6	評価(C)	地域支援課
		目標値(P)	10件	10件	10件	10件	10件	10件	10件	C	【設定根拠】 補助金上限件数
		実績値	11件	3件	4件						
		達成(評価) (C)	A	C	C						
事業内容(D)		<p>◆下記条件全てに該当する新婚世帯を対象に、新生活に要した経費(住宅の購入経費、賃貸アパート契約時の諸経費、引っ越し経費等)に対して上限30万円を経済的に補助する。 新婚世帯条件 ①婚姻日における夫婦2人の年齢が34歳以下 ②直近の世帯所得合計金額が340万円未満 ③その他条件あり</p>									
現状と課題(C)		<p>広報への掲載や、市民保険課窓口でのチラシ配布に加え、8月から転入者への転入アンケートを見直して転入理由が「結婚」と記載されている方に個別で案内ができるようにしたが、所得等要件に当てはまらない方も多い。不動産業者や、ブライダル事業者等にチラシを置かせてもらい、より広範囲での周知や、事業の定着を図っているところである。</p> <p>今後にに向けた 具体的な取組(A)</p> <p>令和3年度より補助要件の緩和及び3世代同居・近居加算が追加されたことから、相談件数の増加が見込まれる。引き続き 婚姻届を受理する市民保険課と連携し周知を図るとともに、転入者に対して実施中のアンケート回答者のうち同意が得られた方に個別案内を行っていく。また、民間事業者を通じた周知の強化として、これまでの市内の不動産業者に加え、引っ越し業者やブライダル事業者等も含めた広範囲での事業周知に努めていく。</p>									
★目標 親と子ども・働く環境との両立支援の推進(妊産婦の安全で安心な環境づくりの推進)											
34	パパママ教室参加率 【幼年期No.1と同指標】	年度	H30 (基準値)	R1 (参考値)	R2	R3	R4	R5	R6	評価(C)	健康対策課
		目標値(P)	13.2%	13.4%	21.0%	21.0%	21.0%	21.0%	21.0%	B	【設定根拠】 子ども・子育て支援計画
		実績値	20.8%	17.4%	18.5%						
		達成(評価) (C)	A	A	B						
事業内容(D)		<p>◆妊娠期と授乳期の栄養、出産準備、産後の生活、出産前後の身体の変化、母乳栄養、沐浴体験などを教室で実施。安心して妊娠・出産・育児ができるように支援。また、妊婦同士の交流や、父親の役割を考える機会ともなり父親の育児参加の支援の場にもなっている。</p>									
現状と課題(C)		<p>コロナウイルス対策として定員4組で実施。申し込み多数により教室開催数を増加。教室を11回開催。</p> <p>今後にに向けた 具体的な取組(A)</p> <p>妊婦だけではなく夫等多くの方に参加してもらえる様に夫への健康教育等内容を変更し、休日開催を含め実施。次年度も対象者が参加しやすいようアンケートに基づいた教室内容の構成。平日午後開催・土日開催を継続。</p>									
★目標 生きがいを感じられ参画できる地域社会の形成支援											
35	生涯スポーツ教室の 参加者数	年度	H30 (基準値)	R1 (参考値)	R2	R3	R4	R5	R6	評価(C)	生涯学習課
		目標値(P)	-	-	3,800人	3,800人	3,800人	3,800人	3,800人	B	【設定根拠】 生涯学習推進計画 教育振興基本計画 後期計画
		実績値	3,818人	1,678人	3,682人						
		達成(評価) (C)	-	-	B						
事業内容(D)		<p>体力の増進、心の健康づくりに有効であるスポーツ活動の推進を図る。また、誰もが自分に合ったスポーツに親しめるようにスポーツ環境の充実を図る。 ◆スポーツ教室及び各種スポーツ大会の開催や各種スポーツクラブの育成支援。 (生涯スポーツの推進のため、こうなんスポーツクラブへの支援を行い、各種教室を開催。)</p>									
現状と課題(C)		<p>R2年5月26日から教室開始 コロナの関係により、人数制限をしたり、人数制限をせずともマスクの着用を義務付けたりとするなか、参加者の人数が例年より減少した。</p> <p>今後にに向けた 具体的な取組(A)</p> <p>引き続き感染予防対策を行いつつ、こうなんスポーツクラブと連携しながら教室(スポーツ)を開催していくとともに、次年度以降の展開に向けた計画策定等、関係者との調整を図る。</p>									

36	市長杯・教育長杯の参加者数	年度	H30 (基準値)	R1 (参考値)	R2	R3	R4	R5	R6	評価(C)	生涯学習課
		目標値(P)	-	-	800人	800人	800人	800人	800人	800人	C
実績値	769人	873人	159人								
達成(評価) (C)	-	-	C								
36	事業内容(D)	◆参加者が競い合うことにより技能の一層の向上が期待できると認められる各種スポーツにおいて、参加者数など一定の大会規模を満たす大会に市長杯を付与することで、スポーツへの関心、参加者の増加、技能の向上などを図っている。									
	現状と課題(C)	龍馬カップ、パークゴルフ、ミックスダブルテニスのみ実施。ソフトバレー、卓球、バドミントン、ゴルフ、バタンク競技についてはコロナにより中止。継続開催が途絶えたためR3年度は再開に向けての支援が必要となる。				今後に向けた具体的な取組(A)		今年度は、コロナの影響により大半の大会が中止となった。来年度は、感染予防対策を行いつつ、関係者との調整を図る。			
37	スポーツ少年団認定員資格の取得者数	年度	H30 (基準値)	R1 (参考値)	R2	R3	R4	R5	R6	評価(C)	生涯学習課
		目標値(P)	66人	68人	75人	78人	80人	85人	85人	A	【設定根拠】 生涯学習推進計画 教育振興基本計画 後期計画R4年度末目標数値 (75人)
実績値	79人	81人	84人								
達成(評価) (C)	A	A	A								
37	事業内容(D)	◆スポーツ少年団の育成指導にあたる「スポーツ少年団認定員」を増やしていくことで、技能の向上を図っていく。 ◆スポーツ教室及び各種スポーツ大会の開催や各種スポーツクラブの育成支援。									
	現状と課題(C)	団員数が多い団体へは更に指導できる体制を構築していくため、認定員の資格取得を促す必要がある。また指導者の高齢化も進んできており若者の取得を促す。				今後に向けた具体的な取組(A)		今年度はコロナの影響で認定講習会が中止となったが、来年度は、講習会への参加を呼びかけ、1人でも多くの認定員取得を促す。			
38	市美術展への出品者数	年度	H30 (基準値)	R1 (参考値)	R2	R3	R4	R5	R6	評価(C)	生涯学習課
		目標値(P)	230人	230人	230人	230人	230人	230人	230人	B	【設定根拠】 生涯学習推進計画 教育振興基本計画 後期計画
実績値	210人	177人	208人								
達成(評価) (C)	B	B	B								
38	事業内容(D)	◆文化協会、各種サークルの活動支援									
	現状と課題(C)	コロナ感染予防対策を実施しながら、R3年1月に前期・2月に後期の大会を開催した。出品者の高齢化(平均74歳)に伴い、年々減少傾向でありR1実績は、177人まで落ち込んだが、今年度は、新規の方20人、高校生が6人の出展があり208人まで復活した。しかし、県内の公募展も全体的に出品者数が減少しており、市展自体の見直しを考える必要がある。				今後に向けた具体的な取組(A)		目標は、現状維持の230人を目標とする。今以上に、高校生の参加を促し、城山高校のデザイン部や漫画部への出展依頼を行う。また、今年度から市展のポスター制作を城山高校へ依頼しており、高校生により近い地元の展示会にしていこう。			

★目標 配慮が必要な人、誰もが安心して生活ができる地域社会の形成支援

39	DV相談窓口数【熟年期No53と同指標】	年度	H30 (基準値)	R1 (参考値)	R2	R3	R4	R5	R6	評価(C)	人権課
		目標値(P)	-	-	-	7箇所	7箇所	7箇所	7箇所	7箇所	*
実績値	5	5	5								
達成(評価) (C)	*	*	*								
39	事業内容(D)	◆生活全般に関わる相談業務を人権課及び赤岡・吉川両市民館において日々行っており、家庭内暴力・DV相談を含めた相談等があれば関係機関(市:福祉事務所、教育委員会、住宅管財課、その他:警察、女性センター等)と連携し対応している。現在の相談窓口:人権課、高齢者介護課、福祉事務所、赤岡市民館、吉川市民館									
	現状と課題(C)	オープンにしたい相談者が来づらい場合や、窓口によっては相談者が知っている人だと相談しにくい面もあると考えられる。相談しやすい窓口・相談体制にしていく必要がある。				今後に向けた具体的な取組(A)		相談者は、玄関を使わず別の入り口を使うなど配慮をする必要がある。利用者の意見も聞きながら相談窓口体制を香我美や夜須などに拡大していくことも関係各課と協議し検討する必要がある。			
40	障害者虐待相談対応・支援	年度	H30 (基準値)	R1 (参考値)	R2	R3	R4	R5	R6	評価(C)	福祉事務所
		目標値(P)	-	-	-	-	-	-	-	-	*
実績値	1人	1人	0人								
達成(評価) (C)	*	*	*								
40	事業内容(D)	◆障害者虐待の相談や通報などの受付、虐待の早期発見への取り組みとして、障害者虐待に関する窓口「香南市障害者虐待防止センター」を設置。(福祉事務所内) 障害者虐待を受けた方への迅速かつ適切な保護、そして障害者の養護者に対する支援を行い、障害者の権利侵害の防止に努める。									
	現状と課題(C)	香南市障害者虐待防止センターの周知と障害者虐待の防止及び養護者に対する支援に関する広報・啓発の充実を図る。				今後に向けた具体的な取組(A)		障害者や障害児の虐待防止及びその早期発見・対応のため、虐待防止ネットワーク委員会等に関係機関との連絡調整を行い、支援体制を強化する。			

★目標 移住者ウェルカム支援の推進

		年度	H30 (基準値)	R1 (参考値)	R2	R3	R4	R5	R6	評価(C)	地域支援課	
		41	移住促進ホームページのアクセス回数	目標値(P)	5,000回	65,000回	68,000回	70,000回	72,000回			74,000回
実績値	67,226回			55,407回	82,096回							
達成(評価)(C)	A			B	A							
事業内容(D)	◆移住・定住促進による新たな定住者の確保と地域の活性化を図る。 市の情報発信及び各課と連携した移住関連情報提供の強化を図る。											
	現状と課題(C)	移住専門HP「香南住む〜ず」の掲載情報をこまめに更新したことや、他課と連携した情報発信を行ったことにより、アクセス数が前年度に比べて増加した。今後は、内容を見やすくするためにHPの改修を検討していく必要がある。				今後に向けた具体的な取組(A)			今後も掲載内容・方法の工夫や、他課と連携した幅広い情報発信をこまめに行うとともにSNS(インスタグラム、Facebook)も積極的に活用していく。また、内容をさらに見やすくするためにHPの改修を実施する。			
42	県外からの移住者数	目標値(P)	10組	20組	32組	34組	36組	38組	40組	B	【設定根拠】 人口ビジョン	
		実績値	29組	29組	31組							
		達成(評価)(C)	A	A	B							
		事業内容(D)	◆移住・定住促進による新たな定住者の確保と地域の活性化を図る。 移住から定住、そして地域の活性化につなげるため、市移住相談窓口での相談業務のほか、高知県等が主催する県外移住相談会への参加、近隣市町村(高知市・香美市・南国市)との広域連携による県外相談会、移住ツアーを実施する。									
	現状と課題(C)	コロナウイルスの影響により、県外での上半期の移住相談会が中止になったが、オンライン相談窓口を開設し、コロナ禍でも対応できる対策を講じた。また、県主催の県外相談会や広域連携事業についても、オンラインにより実施した。移住・定住施策の効果的なPR、本気度の高い移住検討者の把握やアプローチ方法の検討が課題である。				今後に向けた具体的な取組(A)			高知県等が主催する県外移住相談会への参加、高知・南国・香美・香南での広域連携事業のほか、関係人口や交流人口の拡大を図る事業展開により将来的な移住を盛り起こす。移住者交流会を行い、移住者からの意見などを集約し、移住・定住促進につなげる。			
43	空き家バンク新規登録数	目標値(P)	-	-	12件	12件	12件	12件	12件	A	【設定根拠】 実績ベース+登録物件数推移	
		実績値	14件	8件	12件							
		達成(評価)(C)	-	-	A							
		事業内容(D)	◆移住・定住促進による新たな定住者の確保と地域の活性化を図る。 移住者を受け入れるための市内空き家の活用を促進し、移住から定住、そして地域の活性化につなげる。									
	現状と課題(C)	活用可能な空き家の掘り起こしをいかに効率的に行うかが課題となっていたが、R2より移住専門相談員による空き家調査のほか、まちづくり協議会に空き家調査への協力を依頼し、情報収集を行っている。登録物件については、改修が必要なものがほとんどであるため、移住希望者とのスムーズなマッチングにつながらないことが多いことが課題である。				今後に向けた具体的な取組(A)			地域と連携した空き家の掘り起こしに継続して取り組むとともに、市広報等を通して、空き家バンク及び補助金制度の周知にも努めていく。			
44	移住希望者向けお試し滞在住宅の稼働率(市管理)	目標値(P)	-	50.0%	78.0%	80.0%	82.0%	84.0%	86.0%	B	【設定根拠】市の実績ベース(参考)県内各市町村(25市町村)が設置したお試し滞在住宅のH30平均稼働率:約38.0%	
		実績値	78.6%	71.8%	74.8%							
		達成(評価)(C)	-	A	B							
		事業内容(D)	◆移住・定住促進による新たな定住者の確保と地域の活性化を図る。 平成29年12月より香我美町西川地区に移住希望者向けのお試し滞在住宅を設置し、香南市の風土や気候・暮らしを体験してもらうことで、移住への不安を解消する短期滞在施設としての利用促進に取り組む。									
	現状と課題(C)	移住希望者に利用(最長90日)してもらうことで、本市への移住体験施設としての役割を果たしている。R2は、5組の利用があり、利用者のニーズに添った市内案内を行った。また、新しい生活様式に対応するためテレワーク用のOAデスク・チェア、空気清浄機を設置した。低料金の宿泊施設として利用を希望する相談者もいるため、事前相談等での見極めが課題である。				今後に向けた具体的な取組(A)			本気度の高い移住検討者に利用してもらうために、県外移住相談会等でしっかりと移住相談を受けたうえで、香南暮らしの体験施設をPRし利用促進を図る。			
45	地域おこし協力隊任期満了後の定住者数(累計)	目標値(P)	-	-	2人	7人	11人	11人	13人	C	【設定根拠】 任期満了予定の隊員数100%	
		実績値	-	-	0人							
		達成(評価)(C)	-	-	C							
		事業内容(D)	◆農業担い手候補生や移住相談員、集落支援センターの支援等で活動できる人材を積極的に導入し、地域の住民や行政とともに集落の維持や地域の活性化に係る活動を推進し、課題の解決及び事業化に向けた取組を進める。									
	現状と課題(C)	R3.3月末現在、地域おこし協力隊10名が活動中。地域との交流を深め多方面で活躍しており、地域の活性化につながっている。R2年度中に任期満了を迎えた隊員は2名だが、既に市外へ転出している。R3年度中に任期満了を迎える隊員は5名。課題:任期終了後、定着・定住のためには各隊員が就業先を確保することが必要。				今後に向けた具体的な取組(A)			任期満了後も地域で活躍し、定着・定住してもらうための支援を行う。 ・国、県、市が連携した起業・就業支援 ・空き家等市内の不動産物件の情報提供 任期満了後の定住及び市の活性化を図るため、補助金交付要綱を制定し、隊員の起業等を支援する。			

人生の期別	熟年期(人生が充実する時)
基本方針	にぎわいとゆとりを感じ、健康で世代間交流や地域社会に貢献する喜びを感じられる環境づくりを推進します。

★目標 いきいきと健やかな人に優しいまちづくりの推進

46	特定健診受診率 (40～64歳)	年度	H30 (基準値)	R1 (参考値)	R2	R3	R4	R5	R6	評価(C)	健康対策課
		目標値(P)	30.0%	42.0%	30.0%	30.0%	30.0%	30.0%	30.0%	B	【設定根拠】 健康増進計画
		実績値	23.6%	29.1%	18.8%						
		達成(評価) (C)	B	B	B						
事業内容(D)		<p>◆特定健診:集団健診と医療機関での個別健診を実施。          ・国保被保険者の40歳から74歳を対象に無料で実施。          ・人間ドック費用の助成有。          ・がん検診とのセット健診、休日健診も実施。          ・肝炎検査も同時実施(集団検診で検査未実施者に対して無料で実施)</p>									
現状と課題(C)		<p>新型コロナの緊急事態宣言により4月13日～6月末まで集団健診の中止。7月からの再開に伴い、特定健診受診券発送者にはお知らせをしたが、受診控えのためか、受診率は伸びなかった。</p> <p>今後に向けた具体的な取組(A)</p> <p>R2年度途中で感染対策を徹底した新しい健診体制を確立。R3年度も健診体制は継続。受診率の向上のため、健診カレンダーを対象世帯に配布し予約制の周知を図るとともに、休止していた組織や保健師による個別勧奨の再開や、一部外部委託し勧奨通知を行う。</p>									
47	メタボリックシンドローム 該当者割合 (男性) 40～74歳	年度	H30 (基準値)	R1 (参考値)	R2	R3	R4	R5	R6	評価(C)	健康対策課
		目標値(P)	30.0%以下	30%以下	30.0%以下	30.0%以下	30.0%以下	30.0%以下	30.0%以下	B	【設定根拠】 健康増進計画
		実績値	31.4%	32.3%	30.2%						
		達成(評価) (C)	B	B	B						
事業内容(D)		<p>特定健診結果から把握している。          ◆健診受診に対して、各種健康教室(健診結果説明会・生活習慣病予防教室・運動教室・家庭血圧測定指導・健康相談等)の実施</p>									
現状と課題(C)		<p>特定健診受診者のうち、メタボリックシンドローム該当者割合は、男女ともに県や全国と比較すると高い。</p> <p>今後に向けた具体的な取組(A)</p> <p>特定保健指導該当者には個別に面談や教室への誘い込みを行い生活習慣改善に向けた保健指導の実施(年7回)。</p>									
48	メタボリックシンドローム 該当者割合 (女性) 40～74歳	年度	H30 (基準値)	R1 (参考値)	R2	R3	R4	R5	R6	評価(C)	健康対策課
		目標値(P)	13.0%以下	13.0%以下	13.0%以下	13.0%以下	13.0%以下	13.0%以下	13.0%以下	B	【設定根拠】 健康増進計画
		実績値	15.5%	15.2%	16.9%						
		達成(評価) (C)	B	B	B						
事業内容(D)		<p>特定健診結果から把握している。          ◆健診受診に対して、各種健康教室(健診結果説明会・生活習慣病予防教室・運動教室・家庭血圧測定指導・健康相談等)の実施</p>									
現状と課題(C)		<p>特定健診受診者のうち、メタボリックシンドローム該当者割合は、男女ともに県や全国と比較すると高い。</p> <p>今後に向けた具体的な取組(A)</p> <p>特定保健指導該当者には個別に面談や教室への誘い込みを行い生活習慣改善に向けた保健指導の実施(年7回)。</p>									
49	睡眠で休養がとれている割合 40～74歳	年度	H30 (基準値)	R1 (参考値)	R2	R3	R4	R5	R6	評価(C)	健康対策課
		目標値(P)	75.0%	75.0%	75.0%	75.0%	75.0%	75.0%	75.0%	B	【設定根拠】 自殺対策計画
		実績値	71.0%	71.7%	72.2%						
		達成(評価) (C)	B	B	B						
事業内容(D)		<p>◆特定健診の問診結果から把握          ◆住民一人ひとりが自殺の要因となることと体の健康や自殺に対する正しい知識を持ち、自殺予防のための大切な行動、「気づき」「つなぎ」「見守り」ができるように、民生委員定例会で情報交換等を実施するとともに、健診会場やイベントでの広報等普及啓発を図る。</p>									
現状と課題(C)		<p>係長級以上にメンタル研修を実施した。31名参加。また広報やホームページで啓発を行った。</p> <p>今後に向けた具体的な取組(A)</p> <p>R3も職員向けの研修はシリーズ化し継続する。市民向けにはホームページや啓発資料の配布等で啓発していく。</p>									
50	成人歯科健診受診者数 (40・50・60歳)	年度	H30 (基準値)	R1 (参考値)	R2	R3	R4	R5	R6	評価(C)	健康対策課
		目標値(P)	-	-	95人	95人	95人	95人	95人	A	【設定根拠】 健康増進計画
		実績値	-	94人	107人						
		達成(評価) (C)	-	-	A						
事業内容(D)		<p>◆R1年度からの新規事業          ◆年度年齢40・50・60歳に対して、実施期間内に委託歯科医療機関にて1回無料で口腔内診査(歯周病やむし歯の健診)を実施。</p>									
現状と課題(C)		<p>新型コロナのため、歯科医院への受診控えも影響しているが特に60代の女性の受診者が多かった。歯科医院に事業説明を行った。40～50代の男性の受診が少ない。</p> <p>今後に向けた具体的な取組(A)</p> <p>ホームページや特定健診など様々な機会を捉えて周知を図る。対象者には個別に受診票を配布済みのため、スムーズな受診に繋がるよう市内の歯科医院に事業説明を行う。</p>									

★目標 生きがいを感じられ参画できる地域社会の形成支援

	年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	評価(C)	生涯学習課	
		(基準値)	(参考値)								
51	ボランティア登録者数	目標値(P)	100人	100人	125人	125人	130人	130人	135人	B	【設定根拠】 生涯学習推進計画 教育振興基本計画 後期計画
		実績値	115人	121人	95人						
		達成(評価)(C)	A	A	B						
	事業内容(D)	<p>◆本の読み聞かせグループの活動支援をしている。 ◆ボランティア(図書館クラブ)の保育所・幼稚園への読み聞かせ活動を支援している。 ◆活動補助及び読書ボランティア講座を開催し後継者の育成を図る。【市単独】 ◆生涯学習人材バンク登録 様々な分野において豊富な経験や資格を持っている市民や団体の情報を「人材バンク」に登録し、市民の生涯学習活動や学校活動における教育活動等を支援するために、指導者やボランティアとして紹介する制度。</p>									
現状と課題(C)	<p>R3年3月末現在 人材バンク 28人 読書ボランティア 67人 (読書ボランティア重複者20人有りR2削除) 【人材バンク】新規の登録者ができていない状態である。文化協会、スポーツ団体や文化財ボランティアの方々に再度、趣旨説明とこの制度の意義について説明し、登録者の増員を図っていく。 今後に向けた具体的な取組(A) 依頼内容等の住民向けの広報活動(ボランティアの内容などを含め広報やHPでの周知)をはじめ、この制度や活動内容の周知を継続して実施していく。 ・文化・スポーツ団体ごとに個別に説明をする場を設け実施していく。 ・読書ボランティア養成講座の拡充を図る。</p>										
52	地域活性化総合補助金活用自治会数	目標値(P)	-	-	90自治会	93自治会	95自治会	95自治会	95自治会	B	【設定根拠】 95自治会で100%結成
		実績値	85自治会	84自治会	84自治会						
		達成(評価)(C)	-	-	B						
	事業内容(D)	<p>◆地域活性化総合補助金 住民が将来にわたり安全で安心して暮らすことのできる地域社会の実現のため、住民自らが企画し、自主的に取り組むまちづくり活動及び市民と行政が協働で地域の課題解決や個性豊かで活力のあるまちづくりを推進するため交付する。 対象:まちづくり自治会、協議会、(自主防災会、健康を守る会) 補助限度額:町内会加入世帯数×2,000円(自治会)、×4,000円(協議会)</p>									
現状と課題(C)	<p>地域の活動を支援する補助金として自治会、協議会活動をはじめ、防災活動への活用も図られている。しかし、自治会未設立の地域のほか、「設立済みだが補助金は未申請」が2自治会あることが課題。また、コロナ禍においてリスクが先に立ち活動が停滞する地区も出てきているのが現状。 今後に向けた具体的な取組(A) 自治会未設立地域の早期解消を図るため、地区担当職員と共に住民説明会等を継続して行う。補助金未申請の団体については活用を案内する。コロナ対策をいっつつ新しい形での事業を計画・実施する自治会もあるため、そういった事例を共有することで、参考にしてもらい活動を促していく。</p>										

★目標 配慮が必要な人、誰もが安心して生活ができる地域社会の形成支援

	年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	評価(C)	人権課	
		(基準値)	(参考値)								
53	DV相談窓口数【成中期No.39と同指標】	目標値(P)	-	-	-	7箇所	7箇所	7箇所	7箇所	*	【設定根拠】
		実績値	5	5	5						
		達成(評価)(C)	*	*	*						
	事業内容(D)	<p>◆生活全般に関わる相談業務を人権課及び赤岡・吉川両市民館において日々行っており、家庭内暴力・DV相談を含めた相談等があれば関係機関(市:福祉事務所、教育委員会、住宅管財課、その他:警察、女性センター等)と連携し対応している。 現在の相談窓口:人権課、高齢者介護課、福祉事務所、赤岡市民館、吉川市民館</p>									
現状と課題(C)	<p>オープンにしたい相談者が来づらい場合や、窓口によっては相談者が知っている人だと相談しにくい面もあると考えられる。相談しやすい窓口・相談体制にしていく必要がある。 今後に向けた具体的な取組(A) 相談者は、玄関を使わず別の入り口を使うなど配慮をする必要がある。利用者の意見も聞きながら相談窓口体制を香我美や夜須などに拡大していくことも関係各課と協議し検討する必要がある。</p>										
54	社会参加のための外出支援サービス利用者数【成中期No.29と同指標】	目標値(P)	-	-	23人	23人	23人	23人	23人	C	【設定根拠】 第5期障害福祉計画 ※移動支援事業(社協)含む
		実績値	6人	6人	1人						
		達成(評価)(C)	*	*	C						
	事業内容(D)	<p>◆身体障害者を移送用車両で送迎し、社会参加のための外出支援を行う。(肢体不自由の身体障害者手帳1〜3級又は療育手帳のA1、A2又は精神保健福祉手帳の1級に該当するものうち、市民税非課税且つ病院や施設等に入院・入所していないものを対象に移動支援を行う) ◆屋外での移動が困難な障害のある方等に対し、外出時に介助などの支援を行う</p>									
現状と課題(C)	<p>移送車両等の移動支援を必要としている障害者のサービス利用を促進するよう、体制を確保し整える必要がある。 今年度は、コロナの影響が利用者数が少ない。 今後に向けた具体的な取組(A) 令和3年度施行の第6期障害福祉計画を本年度策定し、事業の普及啓発を継続すると共に、社会参加や外出支援の利用目的や方法を検討し、利用者に柔軟な対応ができる事業運営を行っていく。</p>										
55	福祉医療費助成事業利用者数	目標値(P)	-	-	-	-	-	-	-	*	【設定根拠】 障害福祉計画見込み量参考
		実績値	750人	756人	766人						
		達成(評価)(C)	*	*	*						
	事業内容(D)	<p>◆保険給付対象医療費の自己負担額的全額助成。(身体障害者手帳1〜3級又は療育手帳を取得した人の健康保険適用分の自己負担金を助成)</p>									
現状と課題(C)	<p>福祉医療費助成の対象者は手帳取得や所得要件が関係するため、対象者の把握は一律には難しいが、医療機関や窓口にて制度の紹介や利用支援を行い、必要な医療を受けられる体制を継続し整える必要がある。 今後に向けた具体的な取組(A) 中度の心身障害者の保健の向上と福祉の増進を図る中で事業の普及啓発を継続して取り組む。</p>										

人生の期別	高齢期(第二の人生のスタート)
基本方針	健康で長生きできる環境、地域交流や世代間交流を楽しめる環境づくりによって香南市に住んで良かったと思える、地域での支え合いのある安全・安心な環境づくりを推進します。

★目標 健康で長生きできる環境づくりの推進

56	特定健診受診率 (65歳～74歳)	年度	H30 (基準値)	R1 (参考値)	R2	R3	R4	R5	R6	評価(C)	健康対策課	
	目標値(P)	50.0%	42.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	B	【設定根拠】 特定健康診査実施計画	
	実績値	35.4%	43.3%	30.8%								
	達成(評価) (C)	B	A	B								
事業内容(D)		◆健診・集団健診と医療機関での個別健診(75歳以上は健康診査として実施/無料、人間ドック費用の助成)										
現状と課題(C)		新型コロナの緊急事態宣言により4月13日～6月末まで集団健診の中止。7月からの再開に伴い、特定健診受診券発送者にはお知らせをしたが、受診控えのためか、受診率は伸びなかった。				今後に向けた 具体的な取組(A)			R2年度途中で感染対策を徹底した新しい健診体制を確立。R3年度も健診体制は継続。受診率の向上のため、健診カレンダーを対象世帯に配布し予約制の周知を図るとともに、休止していた組織や保健師による個別勧奨の再開や、一部外部委託し勧奨通知を行う。			
57	口腔機能向上教室および高齢者食生活改善栄養教室参加者数	年度	H30 (基準値)	R1 (参考値)	R2	R3	R4	R5	R6	評価(C)	高齢者介護課	
	目標値(P)	250人	90人	150人	160人	170人	170人	170人	170人	C	【設定根拠】 高齢者福祉計画	
	実績値	86人	111人	32人								
	達成(評価) (C)	C	A	C								
事業内容(D)		◆①お達者教室:介護予防メニュー(運動・栄養・口腔・認知症予防・閉じこもり予防等)を組み合わせた複合的プログラムを市内4会場で高齢者に提供する。歯科衛生士による口腔についての指導を年に1回、食生活改善推進員による指導を各会場各曜日1回実施する。 ②いきいきクラブ:食生活改善推進員による口腔機能向上教室を開催する。(年間3～6地区) 平成26年度(夜須2地区・吉川2地区)、平成27年度(香我美3地区・脳の健康教室)、平成28年度(香我美5地区)、平成29年度(野市3地区)、平成30年度(野市6地区)、平成31年度(野市3地区) R2年度(野市3地区) ③自主運動グループ大会で介護予防メニューを提供し、口腔機能の向上について参加者が学ぶ。(令和2年～)										
現状と課題(C)		口腔機能向上教室は食生活改善推進員による市内全域での実施を目標にH23年度より旧町ごとに順次開催。新型コロナの影響で教室の内容を変更し、3地区で開催。お達者教室や自主運動グループ大会での教室開催は中止。実績値は例年よりも減少した。				今後に向けた 具体的な取組(A)			R3年度には、お達者教室や自主運動グループ大会で、口腔機能向上のメニューを取り入れ実施する。			
58	軽スポーツの参加者数	年度	H30 (基準値)	R1 (参考値)	R2	R3	R4	R5	R6	評価(C)	生涯学習課	
	目標値(P)	-	-	1,000人	1,000人	1,000人	1,000人	1,000人	1,000人	B	【設定根拠】 生涯学習推進計画 教育振興基本計画 後期計画	
	実績値	-	-	802人								
	達成(評価) (C)	-	-	B								
事業内容(D)		◆激しい運動ができない世代に健康増進や交流を目的とする軽スポーツを推進する。 ◆子どもから高齢者まで誰でも参加できる教室を香南スポーツクラブへ委託して開催し、市民に対し軽スポーツを推進する。(ポッチャ・屋内ストレッチ・スポーツ吹き矢等)										
現状と課題(C)		新型コロナウイルスの影響により、開催ができない時期があり、また、再開後についても、感染予防対策を行いつつながらの実施のため、参加人数が少ない状態が続いた。そんな中においても、高齢者と子どもたちが一緒ににできる教室(夜須公民館開催)を開催し、多くの参加者があり、好評であった。				今後に向けた 具体的な取組(A)			引き続き感染予防対策を行いつつ、こうなんスポーツクラブやレクリエーション協会等と連携しながら教室(スポーツ)を開催していくとともに、次年度以降の展開に向けた計画策定等、関係者との調整を図る。			
59	成人歯科健診受診者数 (70歳)	年度	H30 (基準値)	R1 (参考値)	R2	R3	R4	R5	R6	評価(C)	健康対策課	
	目標値(P)	-	-	60人	60人	60人	60人	60人	60人	A	【設定根拠】 健康増進計画	
	実績値	-	61人	60人								
	達成(評価) (C)	-	-	A								
事業内容(D)		◆R1年度からの新規事業 ◆年度年齢70歳に対して、実施期間内に委託歯科医療機関にて1回無料で口腔内診査(歯周病やむし歯の健診)を実施。										
現状と課題(C)		高齢期になると歯科医院への受診に積極的になっている。時間的余裕やなんらかの自覚症状もあるためと思われる。				今後に向けた 具体的な取組(A)			ホームページや特定健診など様々な機会を捉えて周知を図る。対象者には個別に受診票を配布済みのため、スムーズな受診に繋がるよう市内の歯科医院に事業説明を行う。			

★目標 世代間交流を楽しみ生活文化の伝承ができる地域社会づくりの推進

60	風揚げ・交流事業 参加者数	年度	H30 (基準値)	R1 (参考値)	R2	R3	R4	R5	R6	評価(C)	生涯学習課
		目標値(P)	1,200人	1,200人	1,300人	1,300人	1,300人	1,300人	1,300人	1,300人	C
実績値	1,300人	1,300人	44人								
達成(評価) (C)	A	A	C								
60	事業内容(D)	◆青少年育成事業として三世交代の風揚げ大会と独自事業を年2回開催している。令和2年度は11月29日にサイクリング、1月17日に風揚げ大会を予定している。いずれも、コロナ対策(検温、消毒、マスク着用等)を施した上で行う。 ◆地域密着型の三世交代により、地域活性化を推進する。									
	現状と課題(C)	R2年度: 風揚げ大会中止 交流事業(サイクリング大会)44人 就学前児童から小学生まで多くの子供と保護者の参加があり、屋外での交流の場として続けていきたい。			今後に向けた 具体的な取組(A)			同じ内容で行っているのに飽きられる恐れがある。しかしながら風揚げという伝統の遊びを変えることは出来ないため、サイドメニューの企画を講じた。また、駐車場の確保が急務。2年度、3年度はコロナの影響で参加者が減少すると思われるが、屋外行事を行うことで少しでも多くの参加者を迎えられるよう改善する。			
61	町民運動会参加団体数	年度	H30 (基準値)	R1 (参考値)	R2	R3	R4	R5	R6	評価(C)	生涯学習課
		目標値(P)	42団体	43団体	42団体	42団体	42団体	42団体	42団体	42団体	*
実績値	38団体	36団体	0団体								
達成(評価) (C)	B	B	*								
61	事業内容(D)	◆各町において自治会等への参加を促し、町民運動会を開催している。 ◆地域密着型の三世交代により、地域活性化を推進する。 参考: 連合参加の団体や野市地区では自主グループでの参加もあるが、自治会ベースに想定すると45団体程度が参加上限。									
	現状と課題(C)	屋外での開催であっても小さい子供からお年寄りまで競技者の間、応援者の間の密を避けることが難しく、また参加者全員の把握が困難な為、中止とした。継続開催が途絶えたため再開にむけての支援が必要となる。			今後に向けた 具体的な取組(A)			新型コロナウイルス感染症の懸念が続くことを想定し、少数開催や接触がない競技を考案する。			

★目標 親・子・孫で支える地域社会づくりの推進

62	軽度生活援助事業 1月あたりの利用者数	年度	H30 (基準値)	R1 (参考値)	R2	R3	R4	R5	R6	評価(C)	高齢者介護課
		目標値(P)	-	-	30人	30人	30人	30人	30人	30人	B
実績値	22人	26人	24人								
達成(評価) (C)	-	-	B								
62	事業内容(D)	◆軽度生活援助事業 65歳以上の一人暮らし高齢者で介護保険サービスを受けていない方を対象に、掃除や買い物等の家事援助サービスを行うことで、要介護状態への進行防止、本人及び家族の身体的、精神的負担の軽減に取り組む。									
	現状と課題(C)	勤務時間が短く安定した収入に繋がりにくいため、新規の援助員の担い手がおらず、慢性的に人手不足となっており、そのために利用者に対してスムーズなサービス提供ができなかった。R2年度には担い手の確保を目的とした研修会を開催するなどして新規援助員の獲得に努めた。			今後に向けた 具体的な取組(A)			新規援助員の獲得に向け、引き続きシルバー人材センターへの会員確保の取り組みを支援していく。			
63	ボランティア参加者数(延)	年度	H30 (基準値)	R1 (参考値)	R2	R3	R4	R5	R6	評価(C)	高齢者介護課
		目標値(P)	760人	760人	700人	700人	700人	700人	700人	700人	B
実績値	710人	588人	520人								
達成(評価) (C)	B	B	B								
63	事業内容(D)	◆高齢者の生きがいづくりや地域での支え合い・助け合いを目的に、65歳以上の方が、市の指定を受けた介護施設や介護予防事業等でボランティアを行った場合にポイントを付与し、そのポイントに応じて香南市ギフトカタログの商品と交換できる事業。									
	現状と課題(C)	新型コロナウイルスの関係で、施設への出入りが制限され、定期で行っていたボランティア活動などほとんど行えていない。また、高齢化等でボランティア活動者が少なくなり、施設側のニーズに対応出来ない状況もある。今後は新たなボランティアの発掘と、受入側への制度周知が課題となっている。制度の運用については社会福祉協議会にあるボランティアセンターとの連携が不可欠なため、定期的に協議を行い進めていく。			今後に向けた 具体的な取組(A)			65歳到達者への介護保険証の配布時に、制度紹介のチラシを同封する。活動者と受入れ側との交流会を引き続き行い、マッチングを推進する。			



★目標 配慮が必要な人、誰もが安心して生活ができる地域社会の形成支援

64	認知症サポーター養成講座受講者数	年度	H30 (基準値)	R1 (参考値)	R2	R3	R4	R5	R6	評価(C)	高齢者介護課
		目標値(P)	450人	270人	270人	270人	270人	270人	270人	270人	B
実績値	268人	261人	207人								
達成(評価) (C)	B	B	B								
64	事業内容(D)	◆地域で認知症の方や家族を支援する見守り・支え合いの体制づくりを推進することを目的とした地域包括支援センターでの相談対応、認知症サポーター養成講座の開催、認知症高齢者を考える会への協力や認知症の講演会等の開催。									
	現状と課題(C)	まちづくりの研修に組み込まれたり、認知症高齢者の増加により、地域住民の関心は高くなっているが、新型コロナウイルスの影響で研修会が自粛されている。また、受講後活動できるキャラバンメイトの固定化が課題となっている。			今後に向けた具体的な取組(A)			認知症高齢者が在宅で生活が継続できるように理解者としてのサポーターの育成を行う。キャラバンメイトについては、活動の推進のため、活動できる方の名簿の整理を行い、活動の場の提供を行っている。			
65	認知症カフェ参加者数	年度	H30 (基準値)	R1 (参考値)	R2	R3	R4	R5	R6	評価(C)	高齢者介護課
		目標値(P)	550人	450人	450人	450人	450人	450人	450人	450人	C
実績値	447人	345人	141人								
達成(評価) (C)	B	B	C								
65	事業内容(D)	◆認知症の方やご家族等が、参加できる憩いの場として開催。知識の普及や介護負担の軽減を図る。									
	現状と課題(C)	直営と委託で4カ所実施予定であったが、新型コロナウイルスの影響で、1カ所休止中であると共に、他3カ所も回数を減らしたり制限を行ったりした為参加者数は激減している。全体的な課題として、参加メンバーの高齢化や固定化が課題となっており、市民全体に向けた周知が必要である。			今後に向けた具体的な取組(A)			R2年度より新たに1カ所増やしたカフェは、新型コロナウイルスの関係で一度も開催できていない。新たな参加者の拡大に向けての普及啓発を、広報やケアマネージャー、民生委員等関係機関に広く周知していく。			

★目標 地域での支え合いがあり、香南市に住んでよかったと思える環境づくりの推進

66	いきいきクラブ事業参加者数(延)	年度	H30 (基準値)	R1 (参考値)	R2	R3	R4	R5	R6	評価(C)	高齢者介護課
		目標値(P)	5,700人	5,700人	5,500人	5,500人	5,500人	5,500人	5,500人	5,500人	B
実績値	5,592人	5,275人	4,261人								
達成(評価) (C)	B	B	B								
66	事業内容(D)	◆地域同士の情報交換や交流による主体的な活動とボランティア等人材育成、研修会の開催等により、介護予防の取り組みへの理解を深め、高齢者を地域で支える仕組みづくりを支援することを目的に実施。①いきいきクラブ事業(地域の高齢者の介護予防活動サークルへの支援)②自主グループ運動支援事業(地域の高齢者運動サークルの活動支援)③高齢者クラブ助成事業の実施。									
	現状と課題(C)	地区お世話係(代表者)の高齢化により新たな代表者の育成が必要である。新型コロナの影響で4月～5月は全地区で活動を中止したため、実績値は例年よりも減少した。感染防止対策としてハンドソープ等の衛生物品を配布し、全地区で健康教育を実施する。			今後に向けた具体的な取組(A)			いきいきクラブ継続に向けて介護予防の内容が充実できるように派遣講師の紹介や、講師を呼ばなくても地区で取り組みやすい内容の研修会を企画する。R2.10～外出自粛によるフレイル予防のため、体操のDVDを配布し取り組んでもらえるよう支援していく。			
67	シルバー人材センター登録者数	年度	H30 (基準値)	R1 (参考値)	R2	R3	R4	R5	R6	評価(C)	高齢者介護課
		目標値(P)	264人	269人	250人	250人	250人	250人	250人	250人	B
実績値	218人	213人	213人								
達成(評価) (C)	B	B	B								
67	事業内容(D)	◆高齢者が経験を活かせる就労を確保し、生きがいを持って活動できる場としてシルバー人材センターが設置されており、活動の周知を行い、新規会員獲得の取り組みを支援する。併せて市からの委託事業の開拓等の支援を行う。									
	現状と課題(C)	近年、65～70歳といった年齢が現役で仕事をしているのが現状であり、入会してもハローワーク等で安定した仕事が見つかる傾向にあることに加え、新型コロナウイルス感染症の影響により新規登録者数が伸びず、目標値に及ばなかった。引き続き登録者の確保に向けた取り組みが必要である。			今後に向けた具体的な取組(A)			市広報等を用いたシルバー人材センターの活動の周知、新規登録者獲得の支援を継続していく。また、市の新規事業の委託を行い、既存会員の安定した就業機会の確保をはかる。			

## 香南市人生支援計画 指標(KPI:重要業績評価指標)一覧

幼年期 (生まれてから小学校就学前)	★目標 妊産婦の安心で安全な環境づくりの推進		
	1	パパママ教室参加率【成年期No.34同指標】	健康対策課
	★目標 親と子の心と体の健康づくり		
	2	この地域で子育てをしたいと思う親の割合(1歳7か月健診)	健康対策課
	3	ゆったりとした気分で子供と過ごせる時間がある母親の割合(1歳7か月健診)	健康対策課
	4	新生児訪問対応割合	健康対策課
	5	育児教育相談利用者数(延)	こども課
	★目標 子どもと子育て家庭に優しい環境づくり		
	6	地域子育て支援センター利用者数	こども課
	7	保育所の一時預かり数(延)	こども課
	8	市のHP(子育て情報サイト)へのアクセス数	こども課
	9	こうなんファミリーサポートセンター会員数	こども課
	★目標 質の高い保育・教育の推進		
	10	本の読み聞かせ回数	生涯学習課
11	朝食摂取割合(3歳児)	健康対策課	
★目標 すべての子どもの成長を保障する環境づくり			
12	ひとり親家庭医療費助成利用者数【就学期No.25同指標】	市民保険課	

就学期 (小学校から高校)	★目標 豊かな人間形成を育む環境づくり		
	13	スポーツ少年団の団体数	生涯学習課
	14	スポーツ少年団の会員数	生涯学習課
	15	夏休みこども教室の開催(参加人数)	生涯学習課
	★目標 子ども・親・家庭に優しい環境づくり		
	16	児童クラブの利用者数	こども課
	★目標 親と子の心と体の健康づくり		
	17	朝食摂取割合(小学生)	学校教育課
	★目標 学校と地域の連携による教育環境づくり		
	18	将来の夢を持つ児童生徒の割合(小学校)	学校教育課
	19	将来の夢を持つ児童生徒の割合(中学校)	学校教育課
	20	地域学校協働本部における1校あたり年間活動のべ日数	学校教育課
	★目標 すべての子どもの成長を保障する環境づくり		
	21	不登校児童生徒の発生率(小学校)	学校教育課
	22	不登校児童生徒の発生率(中学校)	学校教育課
	23	スポーツ大会参加者数(小中高高校生対象)	生涯学習課
	24	こどもよさこい参加者数	生涯学習課
25	ひとり親家庭医療費助成利用者数【幼年期No.12同指標】	市民保険課	
26	児童生徒の肥満傾向率(小学5年)	学校教育課	
27	児童生徒の肥満傾向率(中学2年)	学校教育課	

成年期 (就業から子育て期)	★目標 いきいきと健やかな人に優しいまちづくりの推進		
	28	健康診査受診者数(20~39歳)	健康対策課
	29	社会参加のための外出支援サービス利用者数【熟年期No.54同指標】	福祉事務所
	30	成人歯科健診受診者数(30歳)	健康対策課
	★目標 出会い・新しい家庭づくり支援の推進		
	31	出会いの場の開催回数	地域支援課
	32	出会いの場の参加人数	地域支援課
	33	結婚新生活支援事業補助金活用件数	地域支援課
	★目標 親と子ども・働く環境との両立支援の推進(妊産婦の安全で安心な環境づくりの推進)		
	34	パパママ教室参加率【幼年期No.1同指標】	健康対策課
	★目標 生きがいを感じられ参画できる地域社会の形成支援		
	35	生涯スポーツ教室の参加者数	生涯学習課
	36	市長杯・教育長杯の参加者数	生涯学習課
	37	スポーツ少年団認定員資格の取得者数	生涯学習課
	38	市美術展への出品者数	生涯学習課
	★目標 配慮が必要な人、誰もが安心して生活ができる地域社会の形成支援		
	39	DV相談窓口数【熟年期No53同指標】	人権課
	40	障害者虐待相談対応・支援	福祉事務所
	★目標 移住者ウェルカム支援の推進		
	41	移住促進ホームページのアクセス回数	地域支援課
	42	県外からの移住者数	地域支援課
43	空き家バンク新規登録数	地域支援課	
44	移住希望者向けお試し滞在住宅の稼働率(市管理)	地域支援課	
45	地域おこし協力隊任期満了後の定住者数(累計)	地域支援課	

熟年期 (人生が充実する時)	★目標 いきいきと健やかな人に優しいまちづくりの推進		
	46	特定健診受診率(40~64歳)	健康対策課
	47	メタボリックシンドローム該当者割合(男性)40~74歳	健康対策課
	48	メタボリックシンドローム該当者割合(女性)40~74歳	健康対策課
	49	睡眠で休養がとれている割合40~74歳	健康対策課
	50	成人歯科健診受診者数(40・50・60歳)	健康対策課
	★目標 生きがいを感じられ参画できる地域社会の形成支援		
	51	ボランティア登録者数	生涯学習課
	52	地域活性化総合補助金活用自治会数	地域支援課
	★目標 配慮が必要な人、誰もが安心して生活ができる地域社会の形成支援		
	53	DV相談窓口数【成年期No39同指標】	人権課
	54	社会参加のための外出支援サービス利用者数【成年期No.29同指標】	福祉事務所
	55	福祉医療費助成事業利用者数	福祉事務所

高齢期 (第二の人生のスタート)	★目標 健康で長生きできる環境づくりの推進		
	56	特定健診受診率(65歳~74歳)	健康対策課
	57	口腔機能向上教室および高齢者食生活改善栄養教室参加者数	高齢者介護課
	58	軽スポーツの参加者数	生涯学習課
	59	成人歯科健診受診者数(70歳)	健康対策課
	★目標 世代間交流を楽しみ生活文化の伝承ができる地域社会づくりの推進		
	60	凧揚げ・交流事業参加者数	生涯学習課
	61	町民運動会参加団体数	生涯学習課
	★目標 親・子・孫で支える地域社会づくりの推進		
	62	軽度生活援助事業1月あたりの利用者数	高齢者介護課
	63	ボランティア参加者数(延)	高齢者介護課
	★目標 配慮が必要な人、誰もが安心して生活ができる地域社会の形成支援		
	64	認知症サポーター養成講座受講者数	高齢者介護課
	65	認知症カフェ参加者数	高齢者介護課
★目標 地域での支え合いがあり、香南市に住んでよかったと思える環境づくりの推進			
66	いきいきクラブ事業参加者数(延)	高齢者介護課	
67	シルバー人材センター登録者数	高齢者介護課	